

## イ 実践事例「歴史的分野」

### 第 2 学年 「近代国家の歩みと国際社会」 -新しい価値観のもとで- (8/8)

#### 本時の目標

日本が開国した判断の是非について、討論の内容を踏まえながら、自分の考えを再構築し、適切に表現することができる。

#### 本時の展開の概要

開国による政治的・経済的・文化的な影響や明治維新の様々な改革について理解させた。開国の是非について意思決定を迫り、開国が人々の生活に与えたプラスとマイナスの両面について整理させ、開国が人々の生活に与えた影響を根拠にししながら自分の考えを主張させた。

#### 本時に取り上げる社会的な問題【社会的な問題のパターン】

江戸幕府が鎖国をやめて開国したこと【研究や論争の材料となる事件】

#### 本時の様子

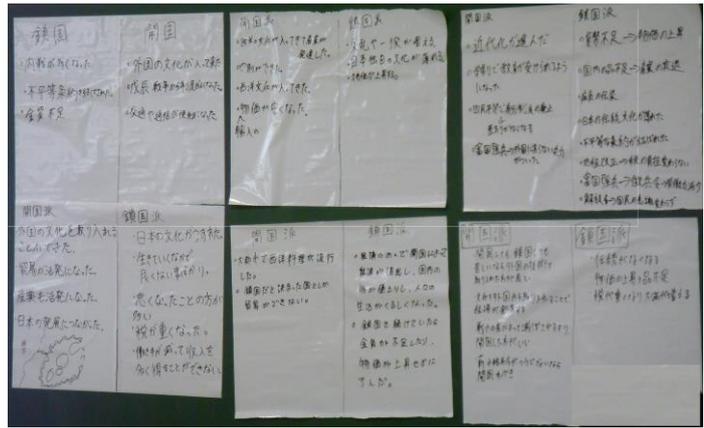
学習活動	教師の指導・支援
<p>○前時までの内容を振り返る。</p> <p>○本時のめあてをつくる。 〈学級全体〉</p>	<p>○キーワードを板書することで、これまでの学習内容を具体的に思い出させ、本時のめあてを確認させた。</p>
<p>めあて 他の人の意見を参考にしながら、日本の開国について考えを深めよう</p>	
<p>社会的な問題【解決すべき課題】</p> <p>江戸幕府が鎖国をやめて開国したこと。</p>	
<p>学習問題Ⅱ 日本は開国して良かったのだろうか</p>	
<p>○学習問題Ⅱに対する自分の考えを確認する。</p> <p>○学習問題Ⅱに対して、開国派と鎖国派のそれぞれの立場になってグループで討論を行う。 〈グループ〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈討論の流れ〉</p> <p>① 発表タイム (班で自分の意見を発表する。)</p> <p>② 作戦タイム (班員の意見に対する質問・意見を考える。)</p> <p>③ 反撃タイム (考えた質問・意見を発表する。)</p> </div> <p>○グループでの討論を参考に、自分の考えを発表させる。 〈学級全体〉</p>	<p>○自分がどのような立場かを再度確認させ、自分と同じ立場の意見については、自分が書いていない新しい情報のメモを取り、自分の意見を補うために必要な情報かを選択させた。自分と異なる立場の意見については、メモを取り、反論できるものか、納得いくものかを判断させた。</p> <p>○討論の意見を整理させることで、意志決定の判断材料にする意識を高めさせ、説得力が増すように、根拠を明らかにしながら自分の考えを表現するように促した。</p> <p>○学習問題Ⅱについて、これまでの自分の意見と討論で出た意見を参考にし、自分の考えを深めさせながら、ワー</p>

○討論で出た意見を踏まえ、再度開国派か鎖国派かの意思決定を行い、根拠を明らかにしながら、自分の考えをワークシートに記述する。



〈個人〉

クシートに記述させた。



**実践を終えて (成果と課題)**

**【成果】**

- 意見が分かれるような論題の設定を行うこと、学習問題 I を追究する過程で知識、概念を身に付けさせること、根拠となる資料が偏らず両方の立場の意見が出るようにすることで、討論の場面において生徒の発言を促すことができた。
- 意思決定の場面では、これまでなかなか自分の言葉で表現することができなかった生徒も、自分の考えをまとめようとする姿がみられ、効果の大きさを感じることができた。そして、討論のための準備時間を 1 時間設けたことで、調べた資料を使って根拠や理由を示す生徒が多く見られた。また、単元の学習を振り返りながら討論型の学習が展開されたことで、基礎的・基本的な知識、概念の定着に成果がみられた。

**【課題】**

- 今回の授業では論題の設定後の意思決定で片方の立場に人数が偏った。論題の設定に大きな課題が残った。
- 学習問題 I の場面で正しい知識を定着させることが不十分であったため、論理的な説明になっていない生徒が見られた。そこで、学習問題 I の授業内容を丁寧に展開した正しい知識を習得させる手立てが必要であると考える。

指導案へ